

準耐水形 GⅡ形電気転てつ機

Water resistant Point Machine

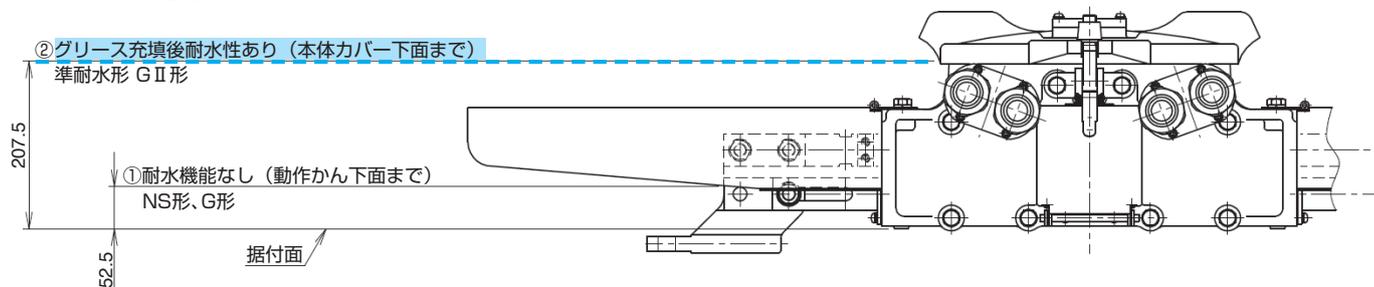
NS形電気転てつ機と互換性がある準耐水形転てつ機

近年、異常気象により多発しているゲリラ豪雨や大型台風の影響により、耐水形電気転てつ機のニーズが高まっていますが、現在、当社で提供しているNNS形電気転てつ機をはじめとした耐水形電気転てつ機は、地下鉄など冠水の恐れのある分岐器向けに開発されており、トンネル狭隘スペースへ設置できるように薄形化したため、一般的なNS形電気転てつ機とは据付互換性がありません。

そこで、ゲリラ豪雨などの一時的な冠水に対して耐性を確保する目的で、NS形電気転てつ機と据付互換性がある現行のG形電気転てつ機を部分改良し、耐水性を向上したGⅡ形電気転てつ機の開発を進めています。

GⅡ形電気転てつ機の耐水特性

動作かんおよび鎖錠かんのグリース溜りに十分給油したのち、本体カバー下面までの部分冠水に対して、静止状態で24時間放置後、機内に浸水しない。



特長

●気密試験は不要です

一般的に耐水形転てつ機は密閉構造であり、耐水性能の確認のため定期的に気密試験を実施する必要がありますが、本転てつ機の構造は密閉方式ではないので気密試験といった特別な保守を必要としません。

●動作かんおよび鎖錠かんのグリース溜りの改良

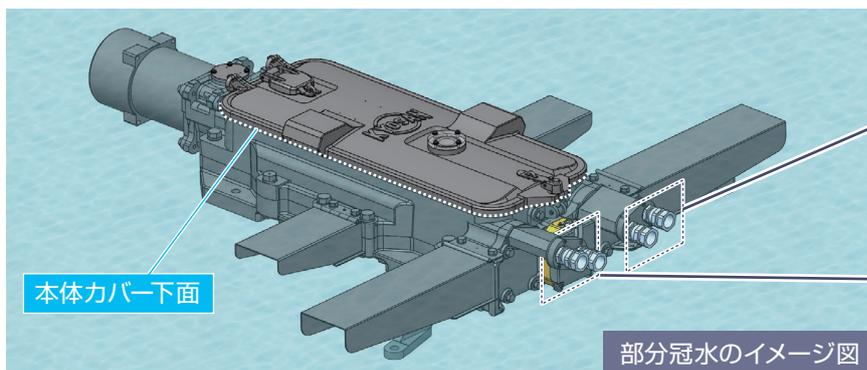
動作かんと鎖錠かんのグリース溜り構造を改良し、グリース充填後の耐水性能を向上させます。
冠水はグリースで防ぐ構造になっているので、冠水が想定される場合、事前に十分なグリースが充填されているように保守が必要です。

●ロック点検窓部の改良

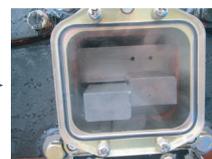
ロック点検窓部は、従来の蓋構造を廃止し、透明窓とパッキンによる耐水構造とします。
点検窓を防水板で塞ぎ、外ゲージでロック偏移を確認する方式は、現場で鎖錠かんの入れ替えができないため左右据付方向別の出荷となりそれぞれの予備機が必要となりますが、この点を工夫し、透明窓構造とすることで、従来機と同じように現場で鎖錠かんの入れ替えが可能となり、予備機は左右共用で対応可能です。

●新形マグネットクラッチの搭載が可能

本転てつ機へは、運転電流と手廻しトルクを低減する新形マグネットクラッチの搭載が可能です。



ケーブルグランド



ロック点検窓